

テーマ 社会人ボランティア

✔ プロボノとしての関わり方

プロボノとは、各分野の専門家が、職業上持っている知識・スキル・経験を活かして社会貢献するボランティア活動全般のことを指しています。プロボノは社会人ボランティアとしての関わり方の一つです。

社会人ボランティア及びプロボノの例

総務・経理、広報・宣伝、パソコン支援、経営サポートなど

当センターでも・・・
「パソコンお悩み相談室」の開催にあたっては、(株)アイエスエフネット様より、プロボノとして講師のご協力を頂いております。

NPO・市民活動は多様な担い手によって支えられています。この内、社会人経験のある人がボランティアとしてNPO・市民活動に参画することにより、実務能力の向上はもちろん、その他にも、活動の幅が広がることや、新たな視点の気付きが得られる等の相乗効果が期待されます。

関わり方には決まった枠組みがある訳ではなく、個人・団体でも、多様な関わり方があります。



来年度のロッカー・メールボックス
利用申請開始しました

平成27年度のロッカー及びメールボックスのお申込みを受付ています。ご利用を希望される団体は、申請書をご記入の上FAX又は窓口にてお手続きください。

※現在ご利用中で引き続きご利用を希望される場合もお申込みが必要です。

■ご利用期間
2015年4月1日～2016年3月31日

■ロッカーの募集数
(大)36個 (中)24個 (小)28個

※(大)と(中)はA3サイズ、(小)とメールボックスはA4サイズ対応です。

■申込締切：2015年3月1日

- ・応募多数の場合は抽選となります。
- ・申込締切後に空きがある場合は随時申込を受付いたします。
- ・ロッカー及びメールボックスのサイズ、空き状況等詳しくはセンターまでお問い合わせください。

NPO工具箱 NPOを応援する仕組みをご紹介します



～NPO法人への新会計基準の普及パンフレット～

『活動計算書に変えてみよう！』

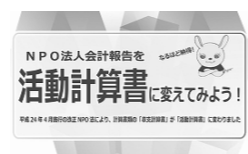
※この冊子は山形市からの受託事業「NPO法人への新会計基準の普及事業」の一環としてNPO法人山形の公益活動を応援する会・アミルが制作しました

どうして「活動計算書」が必要なの？

2012年4月にNPO法が改正され、計算書類の「収支計算書」が「活動計算書」に変わりました。NPO法人が毎事業年度終了後に事業報告書や活動計算書を作成するのは、会員や支援者、一般のみなさんに対して、法人としての活動内容や、支援を受けた内容とその使途・成果、そして計画に対する進捗・達成率を詳しくわかりやすく知らせることで、全国のNPO法人が統一した形式にしようと取り組んでいます。「活動計算書」で、ミッション達成のためにみなさんからより多くの理解と支援を得る様にしましょう。

どんなパンフレットなの？

活動をたくさんの方々に知ってもらい、より多くの支持を得るために、計算書類等の会計報告書をつくる統一のルールとして「NPO法人会計基準」があります。このパンフレットでは、この会計基準に沿った、新しい計算書類の作成について説明しています。ご興味のある方は、当センターにお問い合わせください！



センター職員のいちおし！ スタッフが気になることやおすすめしたいことなどをご紹介します

皆さんお花見はどちらに行きますか？霞城公園や馬見ヶ崎さくらラインが有名ですが、わたしがお勧めするのは中山町にある「お達磨の桜」です。樹齢750年を越えるといわれるエドヒガンザクラがあります。その他の桜をあわせても三十数本しかなく、豪華さでは他の名所と呼ばれる処にはかありませんが、ゆっくり落ち着いて桜を楽しめます。須川左岸にあり堤の上からは遠くに雪の残る山々が望め、コントラストを楽しむことができます。霞城公園の桜よりも数日遅れて開花しますので、

賑わいの中で見る桜を楽しんだ後、落ち着いた雰囲気の中で桜を楽しんでみては如何でしょうか？ちょっとわかりにくい所にありますし、春の先取りもしたいので早めの情報提供です。

(那須)



山形市市民活動支援センターご利用のご案内

- ・開館時間 / 9:30～22:00
- ・休館日 / 月曜日、祝日、月曜日が祝日のときはその翌日、年末年始
- ◆アクセス / 山形駅改札より「東西自由通路アピカ」を通り霞城セントラル 22階・23階
- ★印刷と相談の方は1団体2名、2時間までの駐車券補助があります。(霞城セントラルパーキング・山形駅東口交通センター駐車場をご利用ください。)



編集後記

冬来たりなば春遠からじ。春はもうすぐですね。皆さんの新しいチャレンジ、センターでも応援していきたいです！（柴田）

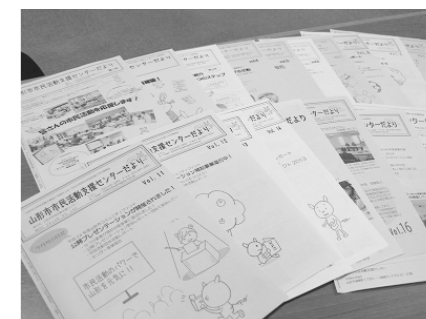
山形市市民活動支援センターだより
発行責任者：所長 齋藤和人

山形市市民活動支援センターだより

平成27年2月15日発行

今年度も残すところ約1か月。年度末は、成果のまとめ、会計処理などでどの団体の皆さんも忙しくなる時期ではないでしょうか。今回は、新年度を迎える前に、ぜひお伝えしたい情報をお届けします。今年度の総決算に向けて、そして新年度に向けて準備を始めましょう。

ご応募いただいた愛称の中から、皆さんの投票によって「山形市市民活動支援センターだより」の愛称が決まります！



▲1月15日から2月15日まで、当センター情報誌「山形市市民活動支援センターだより」の愛称を募集しました。多くのご応募をいただき、ありがとうございました！そして、ご応募いただいた愛称の中から、皆さんの投票によって愛称が決まります。投票の締切は3月15日です。皆さんの投票をお待ちしています！

今号の目次

- ・今後の講座、イベントのご紹介
- ・山形市の市民活動団体のご紹介
- ・みんなでチャレンジ！
- ・NPO工具箱
- ・ロッカー及びメールボックスの利用申請について
- ・センター職員のいちおし！

今すぐできる社会貢献 vol.3

通算20回
記念号！

Vol.20

山形市市民活動支援センター

〒990-8580
山形市城南町1丁目1-1霞城セントラル22・23階

電話：023-647-2260 F A X：023-647-2261
メール：center@yamagata-npo.jp

山形市市民活動支援センター登録団体実数(2015年2月現在327団体) 団体の詳細は、<http://www.yamagata-npo.jp>をご覧ください。

いっしょに考えて・ときめいて
第7回 やまがた
市民活動まつり

「第7回やまがた市民活動まつり」
を開催します！

山形で活動する40の市民活動団体が、ダンスや落語、クイズ、玉こんにやくの販売などで、日頃の活動紹介を行います。市民の皆さんと活動団体との出会いと交流の場です。市民活動をしている私たちと皆さんが、いっしょに考えて・ときめいて、たくさんのステキな出会いがまっていますよ！素敵な景品が当たるスタンプラリーも開催します！子どもも大人も楽しめるイベントです。入場無料ですのでお気軽にご来場ください。

【日時】2月22日(日) 12時30分～15時30分頃
【場所】山形市霞城セントラル1階アトリウム(山形市城南町1-1-1)

この情報誌の愛称を投票できます
会場内の当センター展示ブースに、投票箱を設置します。ぜひ会場で一票お願いします！



初開催！

はじめてのソーシャルビジネス 初開催！

NPO、ソーシャルビジネス、社会貢献事業等の地域や社会の課題を解決するビジネスに関心がある方向けの勉強会です。
■日時：2月26日(木) 19時～21時
■会場：山形市市民活動支援センター会議室B
■締切：2月22日(日)

きいてあるいて
市民活動はじめての一步講座「てくてくまちあるき」

山形市で活躍している市民活動団体の皆さんのお話を聴きながら、一緒に街を歩いて活動を体験します。
■日時：2月28日(土) 9時30分～12時頃
■場所：山形市市街地(集合：山形まなび館交流ルーム2)
■講師：山形市観光ボランティアガイド協会
霞城まちなみ案内人の皆さん
■締切：2月24日(火)

SAVEJAPAN プロジェクト 2014 2015年度も開催決定チュ！

3月1日開催
満員御礼！
未来への種！希少生物のDNAを見てみよう
山形大学小白川キャンパスのSCITA(サイタ)センターにて、希少生物のDNAを取り出して観察するプログラムです。さらに、取り出したDNAをネックレスにする作業や、普段見ることができない理学部棟の実験室の見学も行います。
SAVEJAPAN プロジェクトとは...
47都道府県のNPOと地域の皆さまと、損保ジャパン日本興亜株式会社が一緒になって、全国各地で「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトです。

マネジメント講座
=総務・労務編=

NPOの運営に必要な総務・労務。労働基準法、社会保険、労働保険の基本をおさらいします。
■日時：3月4日(水) 14時～16時(労働保険)
3月11日(水) 14時～16時(社会保険)
3月18日(水) 14時～16時(労働基準法)
3月25日(水) 14時～16時(労働基準法)
※4回連続の講座です。
■場所：山形市市民活動支援センター会議室B
■講師：鈴木利右工門さん(行政書士)
■締切：2月28日(土)

山形市の市民活動のご紹介

山形東高校生徒会と
山形北・日大山形・山形工業・山辺・霞城学園・橋岡高校生徒会

2012年に山形東高校生徒会が開始した「※えがお大作戦～アフガニスタンに贈るランドセル～」をご存知でしょうか。活動が今年3年目を迎え集大成ということで、他校からの協力も得てより多くのランドセルを集めるため、今年度当センターの会議室を利用して「えがお大作戦」実行委員会が開かれてきました。集まったランドセルの発送式を行うということで取材をさせていただきました。
発送式の日、7校の生徒が集まっているので当然制服も様々。違った制服の生徒が協力し合いながら同じ活動をしている姿は中々見かけませんが、それぞれの顔を見ると実に楽しそうで、輝いていました。外のイベント広場で発送式がスタート。発送式の進行も生徒たちで行い、山形東高校・鈴木幹大実行委員長、同校須貝教頭先生の挨拶に続き、霞城学園高校・笹島良太副実行委員長から正式な成果発表があり、今日発送するのが308個であることがわかりました。

2014年「えがお大作戦」合同発送式
取材日 2014年10月19日(日)

山形東高校横山哲先生によると、横浜港からアフガニスタンへの国外運送費(一個につき1800円)は各学校で学校祭や募金を行って非政府組織(NGO)ジョイセフへ送金し、第一貨物さんの山形から横浜港までの国内郵送費は、各学校合同での募金活動や山東の学校祭での売上金と企業協賛金から拠出しているとのことでした。
記念撮影の時に見せた「えがお」トラックを見送るときの「えがお」こんな笑顔が広がれば暗いニュースも減るのではないかと感じました。(那須)
※紛争などにより教育の環境に恵まれないアフガニスタンの子どもたちに、不要になったランドセルをジョイセフを通して贈るプロジェクト。
■お問い合わせ先
えがお大作戦
WEBページ
http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp/htdocs/?page_id=64



まなび場プラス

「学び場プラス」は、塾や予備校に行きたくても行けない子ども達に対する学習支援の活動に取り組んでいる団体です。寒い夜にお伺いして話をお聞きしました。
教室が開催されている部屋は、学校の教室にあるような机、椅子、長テーブルがあり、学習参考書や参考図書もあります。ホワイトボードを使って「数学」に取り組んでいる生徒や、スタッフとマンツーマンで「理科」や「化学基礎」に取り組んでいる生徒など、高校生と中学生が熱心に学習していました。温かい雰囲気の中でサポートしている学生スタッフも、笑顔で見守りながら何だか楽しそうです。
ここでは、学習者の困っていることやつまづいていることに、スタッフ側から寄り添いながら、一緒に課題を見つけて解決していく姿勢で、学習指導ではなくあくまでも学習支援です。「進路指導や受験指導はできないけれど、この場所で自分が学習に取り組むためのきっかけ作りができれば嬉しい。」という代表の言葉が印象的でした。このような場の情報が多くの生徒に届き、そしてサ

ぷらっとほーむ

ぷらっとほーむは、若者の居場所づくりとまなびの場づくりに取り組んでいる団体です。その皆さんが、11月2日、これまでの歩みと、そこから生まれた様々な活動を一同に介した文化祭「ぶらフェス」を開催しました。
この開催には、これまでに自分たちが行ってきた様々な取り組みを社会に広く発信するために、そして、文化祭の成功に向けた共同作業を通して、仲間同士が様々な学びや達成感を得る機会にしたいとの思いが込められています。
会場では様々な催しが行われていました。彼らの活動の中心であるフリースペースはもちろん、トークライブ、コスプレ体験、不登校・ひきこもりについて語る会、パステル画体験、古本交換会、そして歌声喫茶に花笠踊りと、終始賑やかな文化祭でした。
この文化祭は、フリースペースに集う様々な社会背景を持った若者たちが、一つの大きなイベントを成功させたという点で大変意義深く、また、ミニライブの開催に必要な協賛金が目標の15万円を超える額に達したのは、ぷらっとほーむがこれまでに築い

特定非営利活動法人 山形 TFC

NPO 法人山形 TFC は、誰もが参加できる地域の陸上競技クラブを目指し、未就学児から高校・一般の選手、初心者から上級者まで、すべての人が陸上競技に親しむ環境を提供しています。
普段は、クラブ会員のみなさんのための練習会が中心ですが、3大イベントとして、世代ごとに50メートル走のチャンピオンを決める「ダッシュ王選手権」、110mハードル、走幅跳、砲丸投等の複数競技を競う「混成競技記録会」、そして今回取材させていただいた「絆チャレンジ」、また、種目を限定したクリニック、健康増進教室など、非会員の方でも楽しめる活動も行っていきます。
さて、今日は「絆チャレンジ2014」取材するべく、あかねヶ丘陸上競技場におじゃましました。
今回の競技方法は、「1人1周(400メートル)以上走って、次の走者にタスキを渡してリレーをし、フルマラソンの完走を目指す」というもの。競技場を105周と195メートル走ることになるそうです。様々な面白い特別ルールがあり、例えば世界記録の2時間2分57秒以降になると、各チーム3人までが同時に並走でき、その場合は1周が3周とみなされる等、楽しみながらチームで完

小中高校生向け無料学習支援教室
取材日 2014年11月1日(土)

ポートに関わる人が増えればいいですね。塾でも家庭でも学校でもない『学び場プラス』の活動は、夜の闇の中の暖かな灯火のように感じました。(有川)



■お問い合わせ先
学び場プラス
〒990-0041 山形市緑町4丁目10-3 ファートンビル3階B
電話 080-5747-0593
メール manabiba.plus@gmail.com

若者文化のミュージアム「ぶらフェス」
取材日 2014年11月2日(日)

できた多くの方々との信頼関係によるものなのだと思います。彼ら自身の体験と、地域が抱える問題を見つめる中で芽吹いた志は、11年目にして文化祭という大きな花を咲かせるまでになりました。進化し続けるぷらっとほーむとその場に集う人たちの活動には、これからも目が離せません。(花屋)



■お問い合わせ先
若者たちの居場所/学びの場づくりNPO ぷらっとほーむ
〒990-0041 山形市緑町4丁目10-3 ファートンビル3階A
電話 023-664-2275
メール plathome@khaki.plala.or.jp

「絆チャレンジ2014～タスキをつないでフルマラソンに挑戦～」
取材日 2014年11月9日(日)

走を目指すことができます。
いよいよ14時。13チームが一斉にスタート！小学生と大人のチームではもちろんスピードは違いますが、タスキをつなぐため一生懸命に走る姿が見受けられました。1周400メートルのトラックを2～3時間走り続けるため、走ることが単調になりがちですが、スタッフによる実況やスタッフのサポートといった楽しい演出もあり、参加者が「走ることは楽しいこと」と思うことができるイベントになっていると感じました。(佐藤)
■お問い合わせ先
特定非営利活動法人山形 TFC
〒990-2481 山形市あかねヶ丘2-8-3-202
電話 023-646-4401
メール info_tfc@yamagata-tfc.org

